

10 - 1 九州地方とその周辺の地震活動（2005年5月～2005年10月）

Seismic Activity in and around Kyushu District (May, 2005 - October, 2005)

気象庁・福岡管区気象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、九州地方とその周辺でM4.0以上の地震は38回、M5.0以上は3回発生した。このうち最大は、2005年5月31日に日向灘で発生したM5.8の地震であった。

2005年5月～2005年10月のM4.0以上の震央分布を第1図に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 福岡県西方沖の地震活動（余震活動，第2図）

本年3月に発生した福岡県西方沖（M7.0）の地震の余震活動は順調に減衰している。

2005年5月以降では、5月2日にM5.0（最大震度4）、6月3日にM4.1（最大震度2）、7月5日にM4.2（最大震度3）、9月12日にM4.1（最大震度2）の余震が発生した。

(2) 日向灘の地震（M5.8，最大震度4，第4図）

2005年5月31日に、日向灘の深さ29kmでM5.8（最大震度4）の地震が発生した。

発震機構（P波初動解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震は6月9日にM2.7が観測されたものの、活動は6月中におさまった。

今回の震源とほぼ同じところでは、1998年12月16日にM5.7（最大震度4）の地震が発生している。

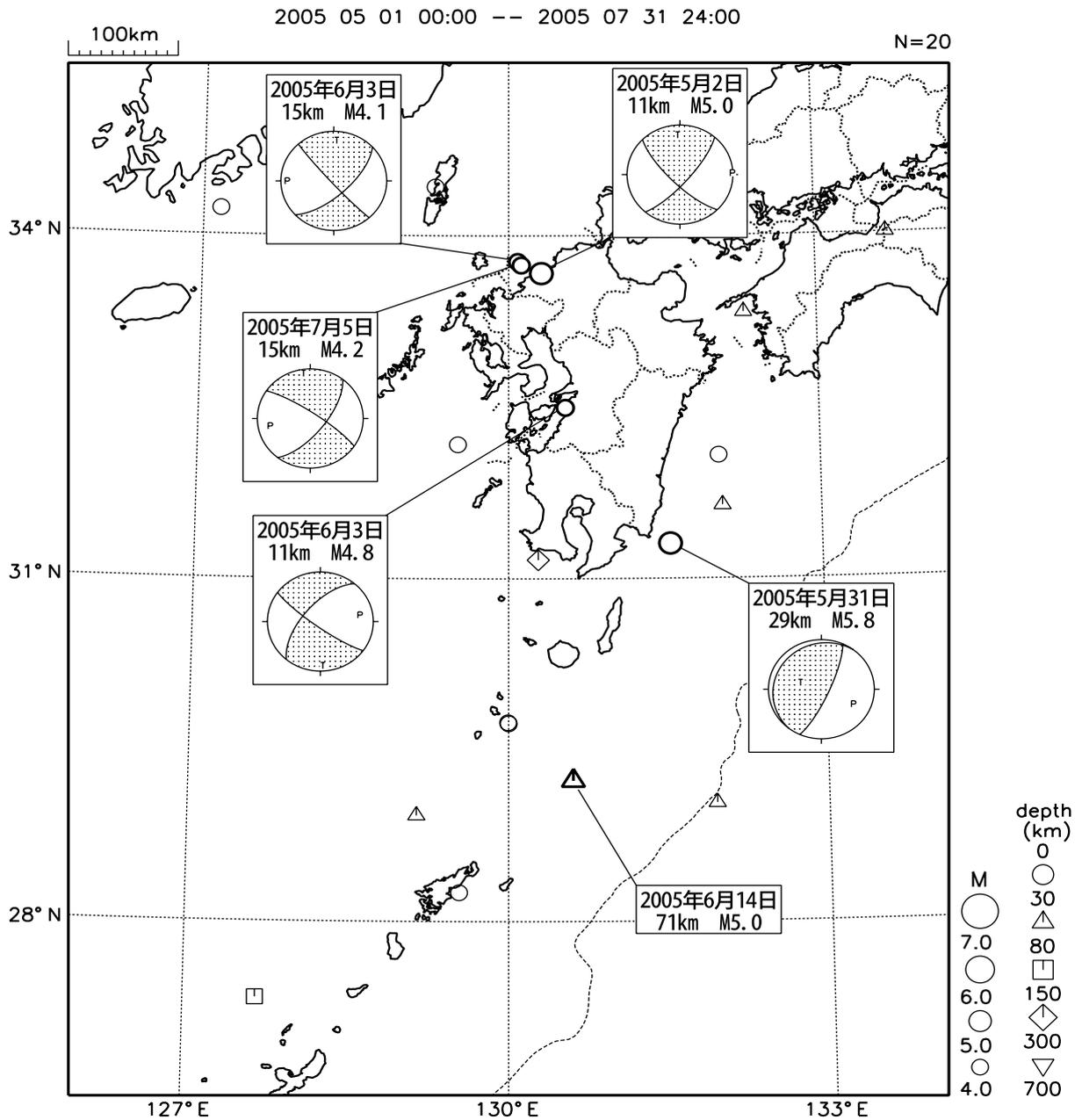
(3) 熊本県天草芦北地方の地震（M4.8，最大震度5弱，第3図）

2005年6月3日に、熊本県天草芦北地方の深さ11kmでM4.8（最大震度5弱）の地震が発生した。

発震機構（P波初動解）は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、この付近でよく見られるタイプである。

今回の震源の付近では、2004年11月21日にM4.1（最大震度3）の地震が発生している。

九州地方とその周辺の地震活動（2005年5月～7月、 $M \geq 4.0$ ）

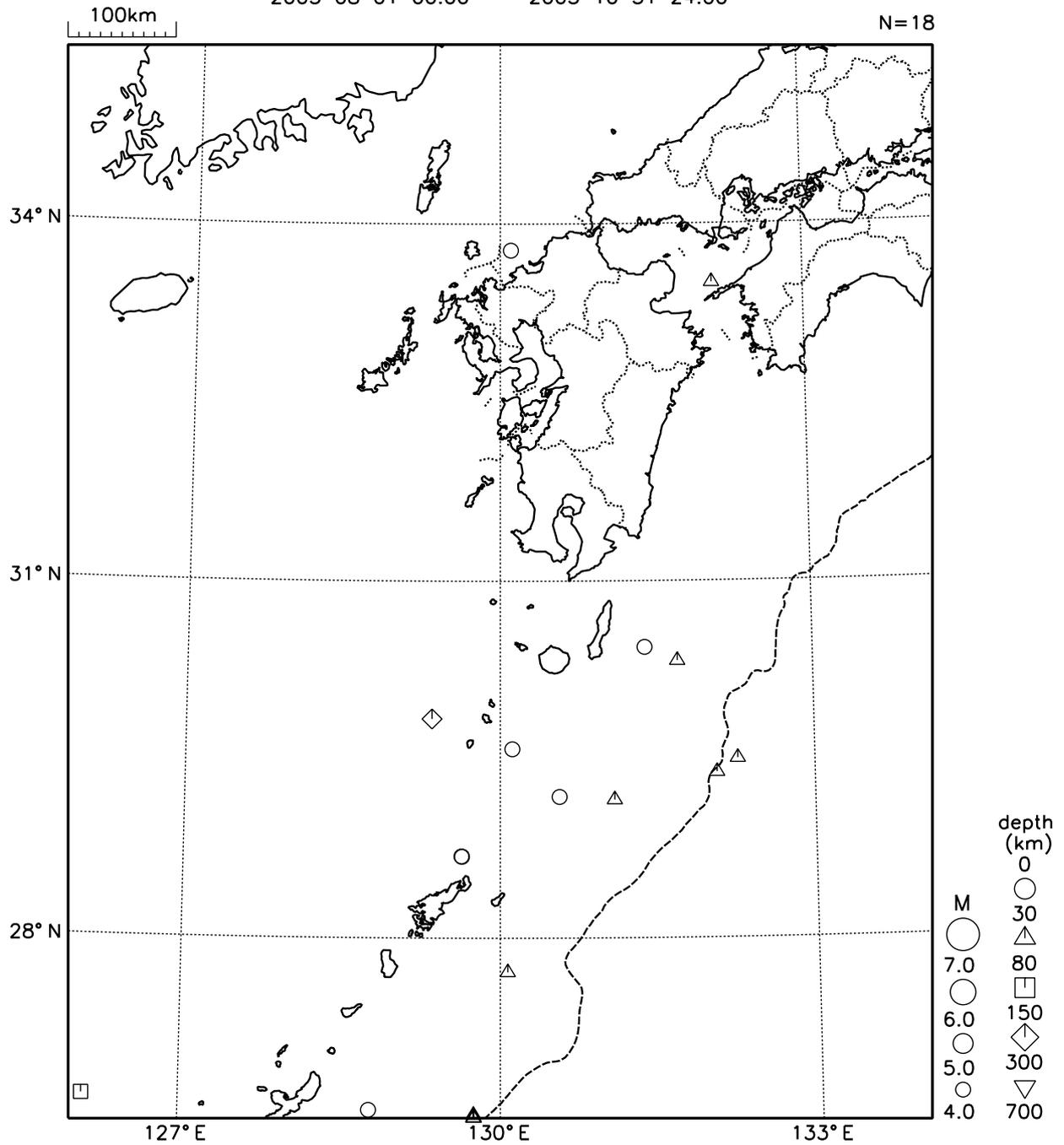


図中の吹き出しは、陸域 $M4.0$ 以上・海域 $M5.0$ 以上

第1図 (a) 九州地方とその周辺の地震活動（2005年5月～2005年7月、 $M \geq 4.0$ 、深さ ≤ 700 km）
 Fig.1 (a) Seismic Activity in and around Kyushu district (May 2005 - July 2005, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

九州地方とその周辺の地震活動(2005年8月~10月、 $M \geq 4.0$)

2005 08 01 00:00 -- 2005 10 31 24:00

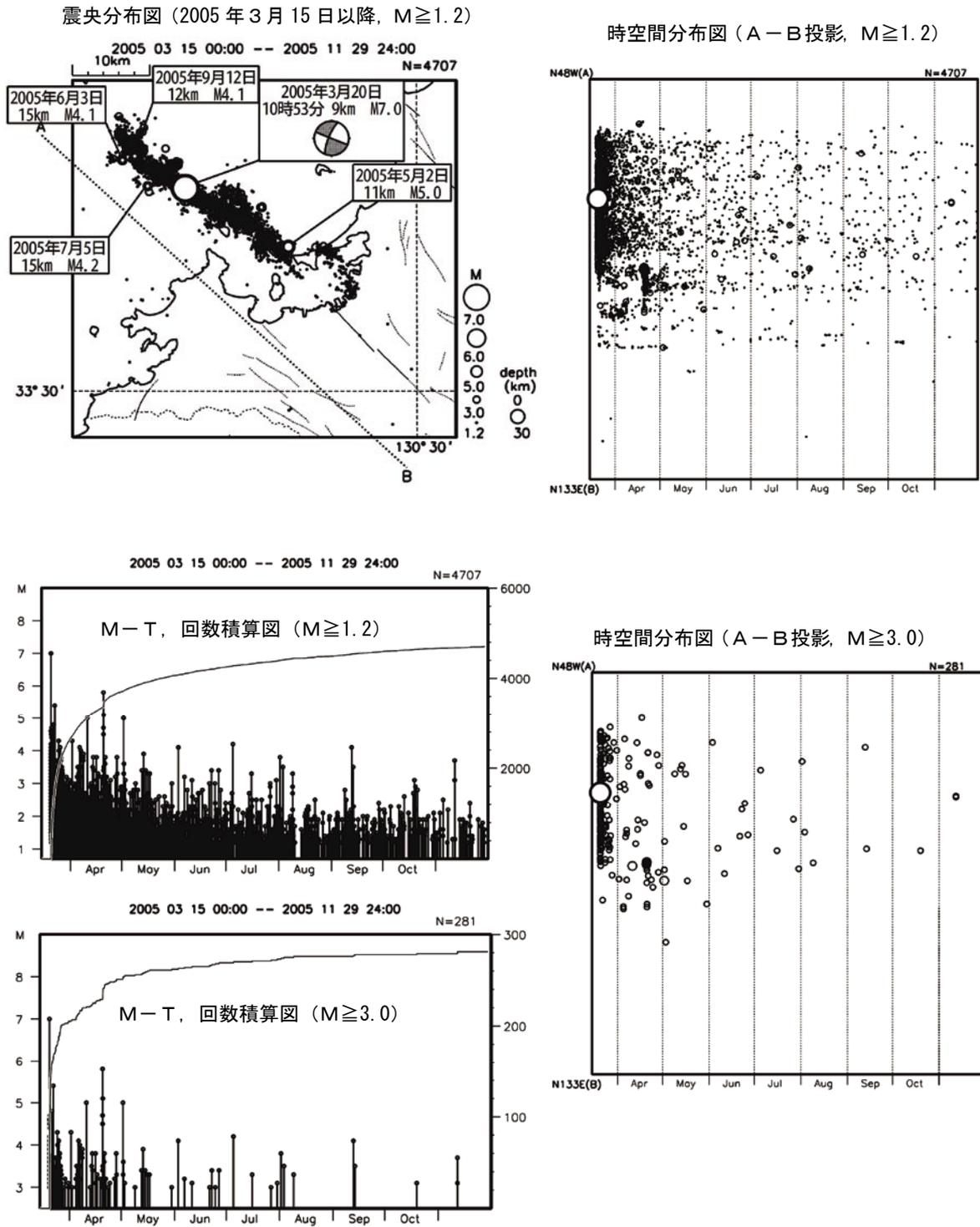


図中の吹き出しは、陸域 $M4.0$ 以上・海域 $M5.0$ 以上

第1図 (b) つづき (2005年8月~2005年10月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

Fig.1 (b) Continued (August 2005 - October 2005, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

福岡県西方沖の地震活動（余震活動）

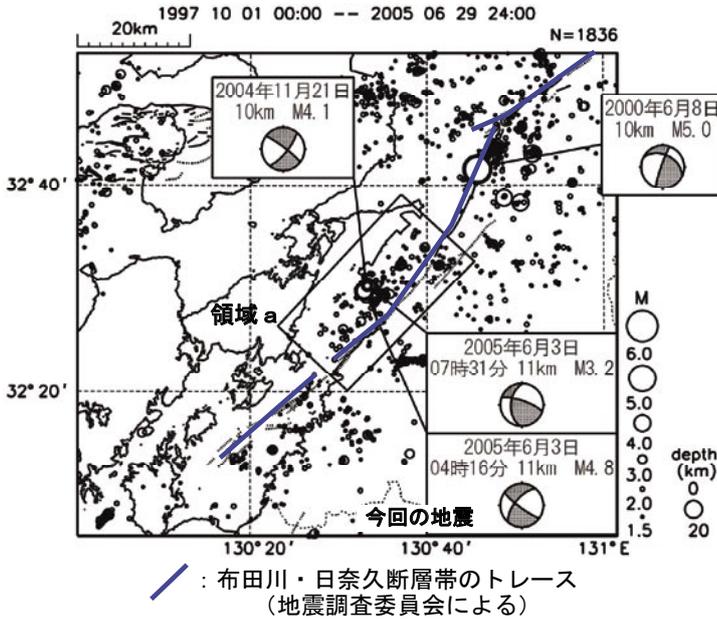


- 2005年3月20日の福岡県西方沖の地震 ($M7.0$) の余震活動の状況
福岡県西方沖の地震の余震活動は順調に減衰している。

第2図 福岡県西方沖の地震活動
Fig.2 Seismic Activity west off Fukuoka prefecture.

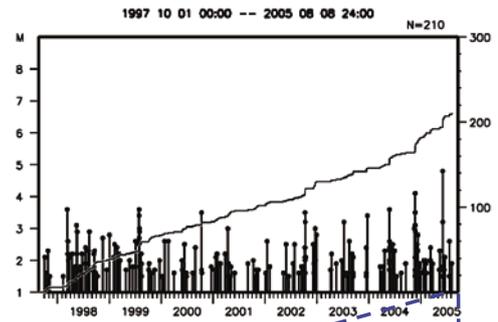
6月3日 熊本県天草芦北地方の地震

A 震央分布図 (1997年10月以降, $M \geq 1.5$)

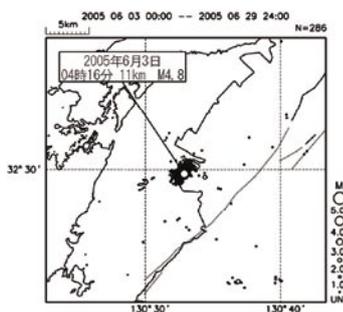


2005年6月3日04時16分に熊本県天草芦北地方の深さ11kmでM4.8(最大震度5弱)の地震が発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、この付近でよく見られるタイプである。今回の地震の震源付近では、最近では2004年11月21日にM4.1の地震が発生している。(A)

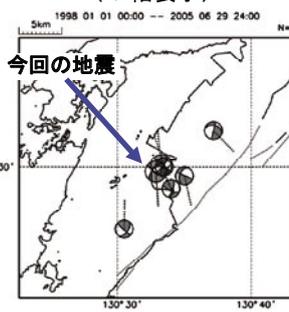
領域 a 内の M-T & 回数積算図



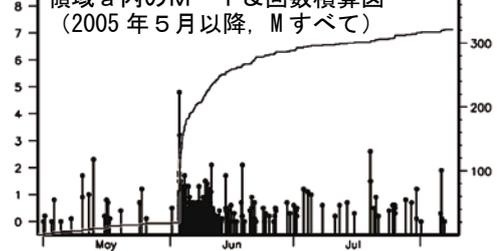
震央分布図 (6月3日以降, M すべて)



周辺の発震機構分布図 (T軸表示)

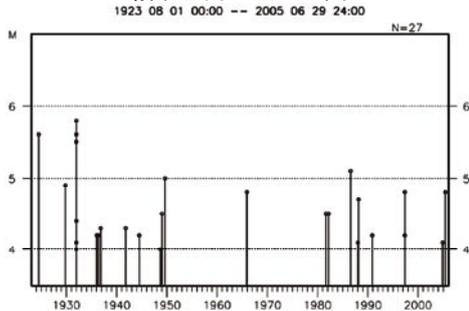


領域 a 内の M-T & 回数積算図 (2005年5月以降, M すべて)

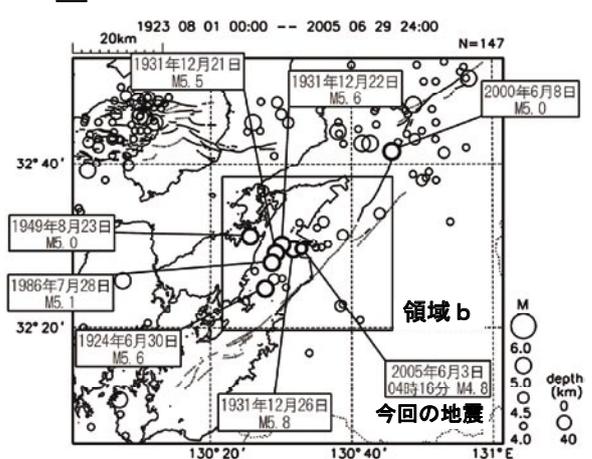


1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近では、M5.0前後の地震が時々発生している。最大は、1931年12月26日のM5.8の地震である。(B)

領域 b 内の M-T 図



B 震央分布図 (1923年8月以降, $M \geq 4.0$)

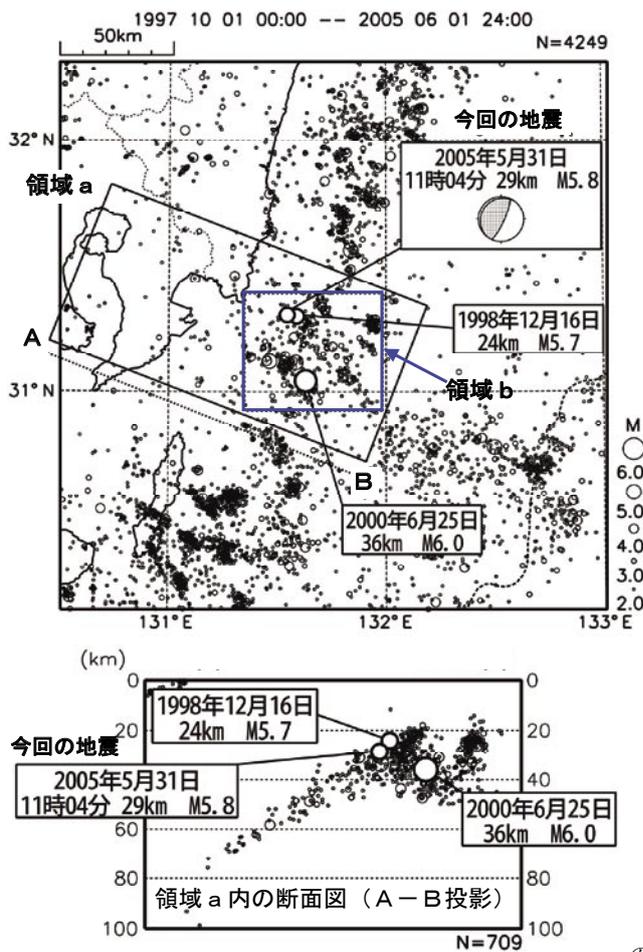


第3図 熊本県天草芦北地方の地震

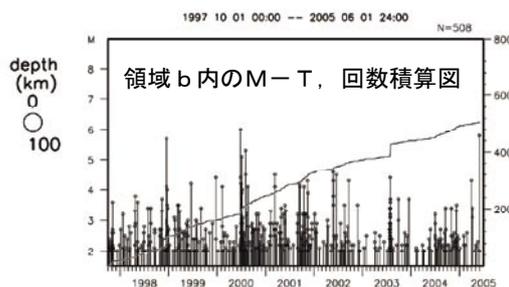
Fig.3 The earthquake in Amakusa-Ashikita region, Kumamoto prefecture.

5月31日 日向灘の地震

A 震央分布図 (1997年10月以降, $M \geq 2.0$)

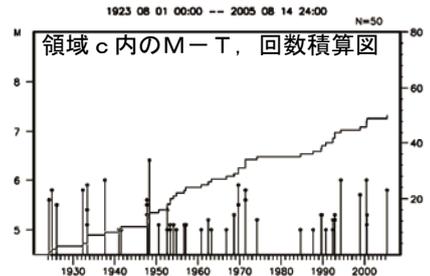
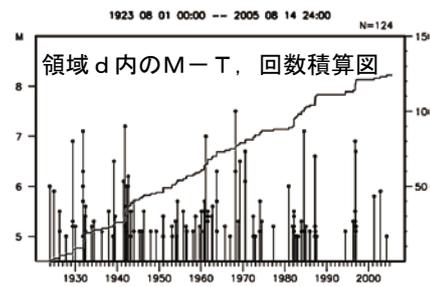
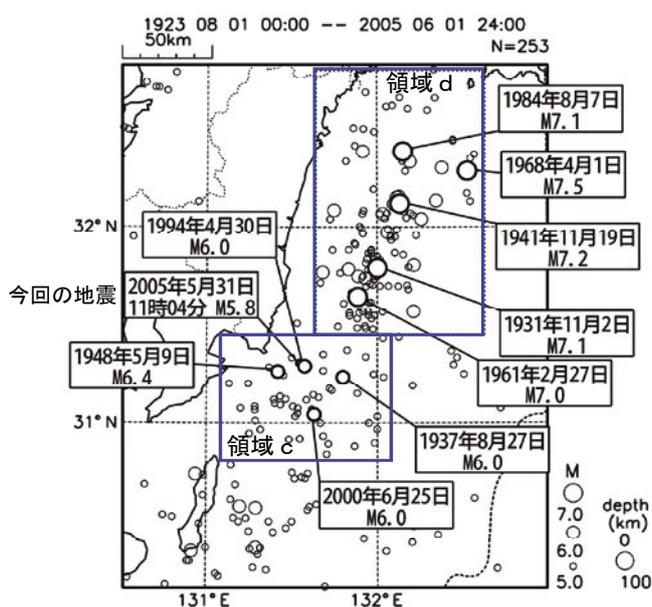


2005年5月31日11時04分に日向灘の深さ29kmでM5.8(最大震度4)の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型でフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震は6月9日にM2.7が観測されたものの、活動は6月中に収まった。今回の地震の震源とほぼ同じところでは、1998年12月16日にもM5.7の地震が発生している。(A)



日向灘では、宮崎県沖では過去にM7.0以上の地震が数多く発生しているが、今回の地震が発生した大隈半島沖では、大きくともM6クラス程度である(最大は1948年5月9日のM6.4)。(B)

B 震央分布図 (1923年8月以降, $M \geq 5.0$)



第4図 日向灘の地震
Fig.4 The earthquake in the Hyuga Sea.